

H8748Q 取扱説明書

改版履歴

版数番号	改版日	改版内容	改版者
R1.0	2025-04-08	初版	First edition

シリアル番号: SJ-20241105140902-016

リリース日: 2025-04-08 (R1.0)

目次

1 はじめに	6
1.1 安全にお使いいただくために.....	6
1.2 パッケージ内容.....	8
1.3 LED 表示.....	9
1.4 製品仕様.....	12
1.5 製品特性.....	12
1.6 ケーブル接続.....	17
2 設定の準備	18
2.1 接続モードの選択.....	18
2.2 TCP/IP の設定 (オプション操作).....	18
2.3 Web 管理画面へのログイン.....	19
3 トポロジーの確認	23
4 インターネット設定	25
4.1 ネットワークインタフェースの確認.....	25
4.1.1 インターネットインタフェース情報の確認.....	25

4.1.2	インターネット接続情報の確認	26
4.2	インターネット接続の設定	28
4.2.1	フィルタ設定	30
4.2.2	DMZ 設定	33
4.2.3	ポートアドレス変換設定	34
4.3	時刻の設定	36
4.4	マルチキャスト設定	37
4.4.1	IGMP モード設定	37
4.4.2	MLD モード設定	38
5	LAN 接続の確認	40
5.1	無線 LAN の設定	40
5.1.1	無線 LAN 設定	40
5.1.2	無線 LAN 基本パラメータの設定	42
5.1.3	無線 LAN 拡張パラメータの設定	47
5.1.4	MLO の設定	49
5.1.5	WPS の設定	50
5.1.6	無線 LAN バンドステアリング設定	51

5.1.7	メッシュ Wi-Fi 設定	52
5.2	LAN の設定	54
5.2.1	LAN ステータスの確認	54
5.2.2	LAN (IPv4) の設定	56
5.3	ルーティングの設定	60
5.3.1	IPv4 ルーティング設定	60
5.3.2	IPv6 ルーティング設定	64
5.4	UPnP 設定	67
6	管理と診断	69
6.1	デバイス情報の確認	69
6.2	アカウント管理の設定	69
6.3	アイドルタイムアウトの設定	70
6.4	システム管理設定	72
6.4.1	デバイス管理設定	72
6.4.2	ソフトウェアのアップグレード	73
6.4.3	自動アップグレード設定	74
6.5	ログ管理	76

6.6 診断.....	79
7 よくある質問.....	83
表	84
図	87
用語、略語	91

1 はじめに

本取扱説明書では、本製品のさまざまな機能や使いかたについて説明しています。

目次から必要な項目を選んでお読みください。

取扱説明書の見かた

- 本取扱説明書に記載している画面やイラストはイメージです。OS、WWW ブラウザの種類など、ご利用の環境によっては実際とは異なる場合があります。
- 本取扱説明書では、H8748Q を「本製品」と表記しております。あらかじめご了承ください。
- 許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。
- 本取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

1.1 安全にお使いいただくために

注意事項

- 本製品を安全にお使いいただくために必ずお読みください。
- 本製品に添付している電源アダプタ（AC アダプタ、電源コード）をお使いください。
- AC アダプタと電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 感電等の危険を防ぐため、電源プラグを清潔かつ、乾燥を保ってください。
- 落雷による事故を防ぐため、雷雨時は必ず電源プラグを抜いてください。
- 本製品を分解しないでください。感電の危険があります。
- この電源アダプタは乾燥した環境でのみ使用してください。水や湿気にさらされると、内部の電子部品が損傷し、火災や感電の危険性が高まります。
- クリーニングする前に、デバイスの電源を切り、電源コード、イーサネットケーブルなど、デバイスに接続されているすべてのケーブルを抜いてください。デバイスの清掃に液体やスプレーを使用せず、柔らかい乾いた布を使用してください。
- 万が一、使用中に煙、異常な音、異常な匂い等が出た場合、すぐに電源プラグを抜いてください。サービス提供元が指定するお問い合わせ先にご連絡ください。

注:

上記注意事項以外のご利用方法で事故等が発生した場合は、一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

使用環境要件

- 屋内のみで使用してください。
- 直射日光を避け、通気性のよい環境でご使用ください。
- 横置きや重ね置きをしないでください。
- ヒータなどの温度が高いところや調理場などの水周りの近くに置かないでください。
- 電気製品、AV、OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）への設置は避けてください。

クリーニング手順

- お手入れの際は、本体の電源を切り、電源ケーブル、本体に接続されているすべてのケーブルを抜いてください。
- 清掃時には液体やスプレーを使用しないでください。柔らかい乾いた布で拭いてください。

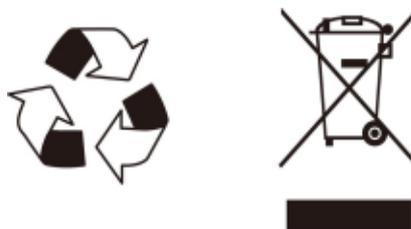
環境保護

- 本製品を使用しないときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- 本製品機器や付属の電源アダプタを不適切に廃棄しないでください。
- 機器の廃棄や処理に関しては使用される地域の規則を守ってください。

環境情報

ご購入いただいた機器の製造には、天然資源を使用しており、人体や環境に有害な物質が含まれている場合があります。このような物質を自然環境に放出することを避け、環境への負担を軽減するために、認定された電子機器回収システムを使用して、使用済みの機器を再利用またはリサイクルしてください。

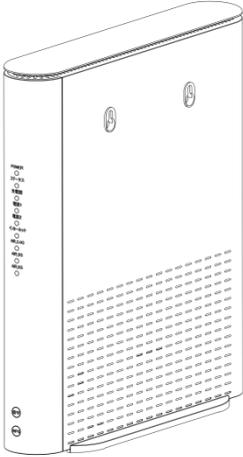
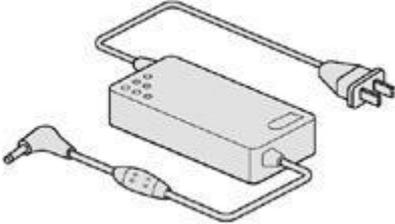
以下の記号は、製品の再利用またはリサイクルする必要があることを示しています。適切な再利用およびリサイクル サイトを見つけてご利用ください。収集、再利用、リサイクル システムに関する詳細情報が必要な場合は、お住まいの地域または地方の廃棄物管理局にお問い合わせください。また、これらの製品の環境パフォーマンスに関する詳細情報については、サービス提供元にお問い合わせください。



1.2 パッケージ内容

本製品の本体と付属品がそろっていることをご確認ください。本製品のパッケージの内容は表 1-1 を参照してください。万が一、不足品がありましたら、お問い合わせ先にご連絡ください。

表 1-1 パッケージの内容

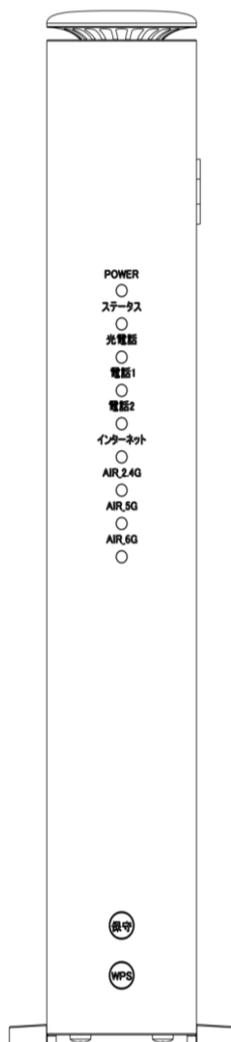
名前	数量	図
本体	1	
電源アダプタ	1	
RJ-45 ケーブル (Cat6A)	1	
SSID シール	1	

		<p>SSID (バンドステアリング) : egg-XXXX</p> <p>SSID (2.4G) : egg-2g-XXXX</p> <p>SSID (5G) : egg-5g-XXXX</p> <p>SSID (6G) : egg-6g-XXXX</p> <p>暗号化キー(AES) : XXXXXXXXXXXX</p> <p>WEB PW : XXXXX</p>  <p>QRコードは シールとし て本体に貼 り付けること が可能です</p>												
安全注意事項	1	<p>安全注意事項</p> <p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品を安全にお使いいただくために必ずお読みください。 本製品に添付している電源アダプタ(ACアダプタ)、電源コードをお使いください。 ACアダプタの電源コードを傷つけたり、破損したり、加圧したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、おじたり、束ねたりしないでください。火災、感電の原因となります。 感電等の危険を防ぐため、電源プラグを清潔かつ、乾燥を保ってください。 落雷による事故を防ぐため、雷雨時は必ず電源プラグを抜いてください。 本製品を分解しないでください。感電の危険があります。 この電源アダプタは乾燥した環境でのみ使用してください。水や湿気にさらされると、内部の電子部品が損傷し、火災や感電の危険性が高まります。 クリーニングする前に、デバイスの電源を切り、電源コード、イーサネットケーブルなど、デバイスに接続されているすべてのケーブルを抜いてください。デバイスの清掃に液体やスプレーを使用せず、柔らかい乾いた布を使用してください。 方が、使用中に煙、異常な音、異常な匂い等が出た場合、すぐに電源プラグを抜いてください。サービス提供元が指定するお問い合わせ先にご連絡ください。 <p>※ 上記注意事項以外のご利用方法で事故等が発生した場合は、一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。</p> <p>使用環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内のみで使用してください。 直射日光を避け、通気性のよい環境でご使用ください。 横置きや重ね置きをしないでください。 レースなどの温度が高いところや調理場などの水回りの近くに置かないでください。 電気製品、AV、OA機器などの配線を帯びている場所や電磁波が発生している場所(電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)への設置は避けてください。 <p>取扱説明書及び設置方法は下記のQRコードからご覧ください</p> 												
お問い合わせ先のご案内	1	 <p>お問い合わせ先のご案内</p> <p>当社はメガ・エッグサービスをご利用いただき誠にありがとうございます。 このたびは、Wi-Fiルータ(数機)をお届けいたしました。 ご機嫌ようございます。</p> <p>機嫌が悪い場合は、以下の二次リコードからアクセスして接続設定を行ってください。 (接続変更の際は機嫌交換後、これまでご利用されていた機嫌のご返送をお願いいたします。)</p> <p>接続設定方法および返却方法ははこちら [必ずご確認ください] URL: https://www.egg-jp/member/option/return_wifi_router</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受付時間</th> <th>お問い合わせ先</th> <th>お問い合わせ先</th> <th>お問い合わせ先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受付時間</td> <td>受付時間</td> <td>受付時間</td> <td>受付時間</td> </tr> <tr> <td>0120-010-517</td> <td>0120-50-5696</td> <td>0120-914-019</td> <td>050-001-004</td> </tr> </tbody> </table> <p>10:00~18:00 (年中無休)</p> <p>meg@egg.com.jp MEGAEGG-info@egg.com.jp MEGAEGG-sa@egg.com.jp</p> <p>メガ・エッグ MEGAEGG 株式会社イネコム MEGAEGG-001</p> <p>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL: 03-6261-1111 FAX: 03-6261-1112</p> <p>イネコム</p>	受付時間	お問い合わせ先	お問い合わせ先	お問い合わせ先	受付時間	受付時間	受付時間	受付時間	0120-010-517	0120-50-5696	0120-914-019	050-001-004
受付時間	お問い合わせ先	お問い合わせ先	お問い合わせ先											
受付時間	受付時間	受付時間	受付時間											
0120-010-517	0120-50-5696	0120-914-019	050-001-004											

1.3 LED 表示

本製品の前面パネルにある LED 表示の説明をします。図 1-1 を参照してください。

図 1-1 前面パネルの LED 表示



前面パネルの LED 表示の説明をします。表 1-2 を参照してください。

表 1-2 LED 表示の説明

LED 名	動作	状態
POWER	緑点灯	電源ON時
	橙点灯	ファームウェアダウンロード中
	橙点滅	ファームウェアアップグレード中
	消灯	電源OFF時
ステータス	消灯	WPSのオートネゴシエーションがされていません
	緑点灯	WPSのオートネゴシエーションが成功しました

	橙点滅	オートネゴシエーション中
	赤点滅	セッション・オーバーラッピング検査またはオートネゴシエーションが失敗しました
光電話	消灯	光電話サービスはありません
電話 1	消灯	光電話サービスはありません
電話 2	消灯	光電話サービスはありません
10G LAN	緑点灯	LAN ポートに設備が10Gbpsで接続されていますが、データ送受信がありません
	緑点滅	10Gbpsの通信速度でデータ送受信中です
	橙点灯	LANポートに設備が10Gbps未満で接続されていますが、データ送受信がありません
	橙点滅	10Gbps未満の通信速度でデータ送受信中です
	消灯	10G LANポートに設備が接続されていません
LAN1-LAN3、TA	緑点灯	LANポートに設備が1Gbpで接続されていますが、データ送受信がありません
	緑点滅	1Gbpsの通信速度でデータ送受信中です
	橙点灯	LANポートに設備が1Gbps未満で接続されていますが、データ送受信がありません
	橙点滅	1Gbps未満の通信速度でデータ送受信中です
	消灯	1G LANポートに設備が接続されていません
インターネット	緑点灯	接続が確立され、IPアドレスを取得しました
	緑点滅	データ送受信中です
	消灯	インターネット接続がありません
AIR_2.4G	緑点灯	2.4G Wi-Fi機能オン
	緑点滅	2.4G Wi-Fi データ送信中です
	消灯	2.4G Wi-Fi 機能オフ
AIR_5G	緑点灯	5G Wi-Fi 機能オン
	緑点滅	5G Wi-Fi データ送信中です
	消灯	5G Wi-Fi 機能オフ

AIR_6G	緑点灯	6G Wi-Fi 機能オン
	緑点滅	6G Wi-Fi データ送信中です
	消灯	6G Wi-Fi 機能オフ

1.4 製品仕様

本製品の仕様を説明します。表 1-3 を参照してください。

表 1-3 製品仕様

項目	仕様
外觀寸法	248.5 mm×215 mm×40 mm (H×W×D, 突起部を除く)
電源	AC 100 V
消費電力	約 32 W (最大)
動作温度	0 °C~40 °C
動作湿度	5%~95%

1.5 製品特性

本製品の特性を説明します。表 1-4 を参照してください。

表 1-4 製品特性

WANインターフェース	
ポート数	10G WAN X1
規格	10G LANX1: IEEE 802.3u(100BASE-TX) IEEE 802.3ab(1000BASE-T) IEEE 802.3an(10GBASE-T) IEEE 802.3bz(2.5G/5-G BASE-T)
全二重/半二重	自動検出
MDI/MDI-X	自動検出
物理インターフェース	RJ-45

LANインターフェース	
ポート数	10GE LANX1, GE LANX4 (LAN1-LAN3, TA)
規格	<ul style="list-style-type: none"> ● 10G LANX1: <ul style="list-style-type: none"> - IEEE 802.3u(100BASE-TX) - IEEE 802.3ab(1000BASE-T) - IEEE 802.3an(10GBASE-T) - IEEE 802.3bz(2.5G/5-G BASE-T) ● GE LANX4 (LAN1-LAN3, TA): <ul style="list-style-type: none"> - IEEE 802.3 (10BASE-T) - IEEE 802.3u(100BASE-TX) - IEEE 802.3ab(1000BASE-T)
全二重/半二重	自動検出
MDI/MDI-X	自動検出
物理インターフェース	RJ-45
電話インターフェース	
ポート数	POTS(電話)ポート×2 注) 電話サービス非対応のためポートヘカバーを取り付けています
物理インターフェース	RJ-11
無線 LAN インターフェース	
IEEE 802.11a	
周波数帯域/チャンネル	5GHz帯(5.150-5.730 GHz) 5.2G ch 36/40/44/48 5.3G ch 52/56/60/64 5.6G ch 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136 /140 5.7G ch 144
伝送方式	OFDM方式
伝送速度※	54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps (自動フォールバック)
IEEE 802.11b	
周波数帯域/チャンネル	2.4GHz帯(2.400-2.484 GHz)/1~13ch

伝送方式	DS-SS(スペクトラム直接拡散)方式
伝送速度※	11/5.5/2/1 Mbps(自動フォールバック)
IEEE 802.11g	
周波数帯域/チャンネル	2.4GHz帯(2.400-2.484 GHz)/1~13ch
伝送方式	OFDM方式
伝送速度※	54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps (自動フォールバック)
IEEE 802.11n	
周波数帯域/チャンネル	2.4GHz帯(2.400-2.484 GHz)/1~13ch
伝送方式	OFDM方式/MIMO(空間多重)方式
伝送速度※	最大600 Mbps(2.4 GHz帯)
周波数帯域/チャンネル	5GHz帯(5.150-5.730GHz) 5.2G ch 36/40/44/48 5.3G ch 52/56/60/64 5.6G ch 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136 /140 5.7G ch 144
伝送方式	OFDM方式/MIMO(空間多重)方式
伝送速度※	最大600 Mbps(5 GHz帯)
IEEE 802.11ac	
周波数帯域/チャンネル	5GHz帯(5.150-5.730GHz) 5.2G ch 36/40/44/48 5.3G ch 52/56/60/64 5.6G ch 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136 /140 5.7G ch 144
伝送方式	OFDM方式/MU-MIMO方式
伝送速度※	最大3.467 Gbps
IEEE 802.11ax	
周波数帯域/チャンネル	2.4GHz帯(2.400-2.484GHz)/1~13ch

伝送方式	OFDMA方式/MU-MIMO方式
伝送速度※	最大1.15 Gbps(2.4 GHz帯)
周波数帯域/チャンネル	5GHz帯(5.150-5.730GHz) 5.2G ch 36/40/44/48 5.3G ch 52/56/60/64 5.6G ch 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136 /140 5.7G ch 144
伝送方式	OFDMA方式/MU-MIMO方式
伝送速度※	最大4.804 Gbps (5GHz帯)
周波数帯域/チャンネル	6GHz帯(5.925-6.425GHz) 1/5/9/13/17/21/25/29/33/37/41/45/49/53/57/ 61/65/69/73/77/81/85/89/93
伝送方式	OFDMA方式/MU-MIMO方式
伝送速度	最大4.804 Gbps (6GHz帯)
IEEE 802.11be	
周波数帯域/チャンネル	2.4GHz帯(2.400-2.484GHz)/1~13ch
伝送方式	OFDMA方式/MU-MIMO方式
伝送速度※	最大1.376 Gbps(2.4 GHz帯)
周波数帯域/チャンネル	5GHz帯(5.150-5.730GHz) 5.2G ch 36/40/44/48 5.3G ch 52/56/60/64 5.6G ch 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136 /140 5.7G ch 144
伝送方式	OFDMA方式/MU-MIMO方式
伝送速度※	最大5.76 Gbps (5GHz帯)
周波数帯域/チャンネル	6GHz帯(5.925-6.425GHz) 1/5/9/13/17/21/25/29/33/37/41/45/49/53/57/ 61/65/69/73/77/81/85/89/93

伝送方式	OFDMA方式／MU-MIMO方式
伝送速度※	最大11.5 Gbps (6GHz帯)
アンテナ／セキュリティ	
セキュリティ	SSID MAC アドレスフィルタリング。 WPA2-PSK(AES)、WPA／WPA2-PSK(AES)、WPA3(SAE)、WPA／ WPA2-PSK(AES)／WPA3(SAE)、WPA2-PSK(AES)／WPA3(SAE)

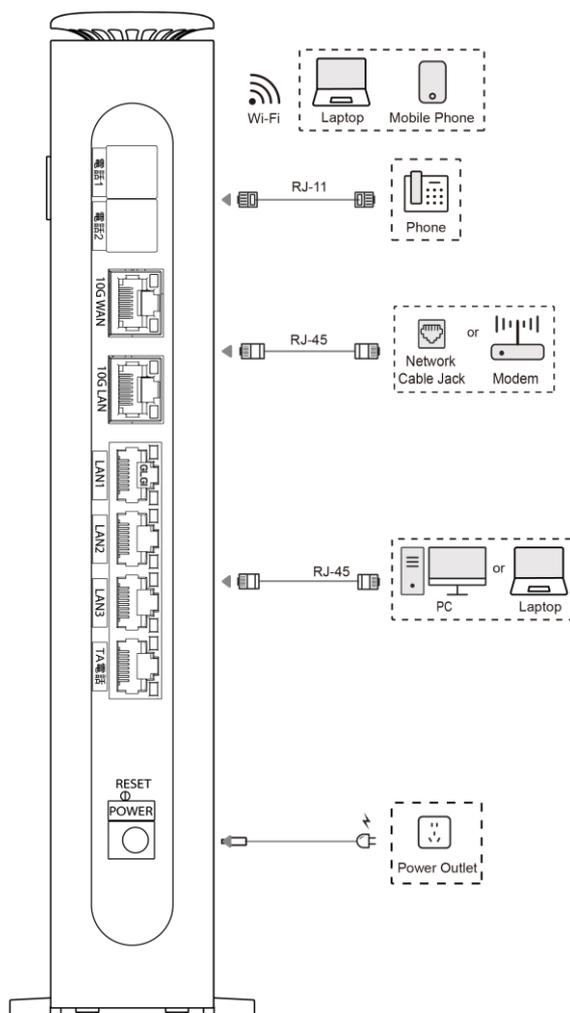
注:

- 規格による理論上の速度であり、ご利用の環境や接続機器などにより実際のデータ転送速度は異なる場合があります。

1.6 ケーブル接続

図 1-2 で H8748Q デバイスに接続される機器を示しています。

図 1-2 ケーブル・Wi-Fi 接続



2 設定の準備

2.1 接続モードの選択

概要

本製品の管理システムには、次のいずれかの方法でアクセスできます。

- Wi-Fi 接続: この方法は固定ネットワークインターフェイスがない場合に適用できます。
- 有線接続: この方法は高い安定性と高いデータ転送速度が求められる場合に適用できます。

手順

- Wi-Fi で本製品に接続
 - a. メンテナンス用 PC または携帯電話で無線 LAN を設定します。
 - √ 携帯電話 (例として iPhone を使用) の場合: [設定] > [Wi-Fi] を選択します。
 - √ メンテナンス PC (例として Windows を使用) の場合: [ネットワークとインターネット] > [Wi-Fi] を選択します。
 - b. 本製品の Wi-Fi ネットワークに接続します。
- 有線モードで本製品に接続
 - a. ネットワークケーブルを使用して、ローカルコンピュータを本製品の LAN インターフェイスに接続します。

2.2 TCP/IP の設定 (オプション操作)

概要

メンテナンス PC が本製品に接続するための IP アドレスを自動的に取得できない場合は、PC の IP アドレスを手動で変更できます。

この手順では、Windows オペレーティングシステムを例にして、TCP/IP を構成する方法について説明します。

手順

1. [スタート] > [Windows システム] > [コントロールパネル] を選択します。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。
2. [ネットワークとインターネット] > [ネットワークと共有センター] を選択します。[ネットワークと共有センター] ウィンドウが表示されます。
3. [アダプタの設定の変更] をクリックします。[ネットワーク接続] ウィンドウが表示されます。
4. イーサネットを右クリックし、[プロパティ] を選択します。イーサネットのプロパティ ウィンドウが表示されます。
5. [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] をダブルクリックします。[インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。
6. IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。
 - IP アドレス: 192.168.1.x (x の範囲は 2 ~ 254)
 - サブネットマスク: 255.255.255.0
 - デフォルトゲートウェイ Default gateway: 192.168.1.1
7. [OK]をクリックします。

関連タスク

PC から本製品に Ping を実行するには、次の操作を実行します。

1. [スタート] > [Windows システム] > [コマンドプロンプト] を選択します。コマンドプロンプトが表示されます。
2. [ping 192.168.1.1]と入力し、Enter キーを押します。実行結果は以下のようになります。

```
Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:  
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64  
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64  
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64  
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64
```

2.3 Web 管理画面へのログイン

概要

この手順では、本製品の Web 管理画面にログインする方法について説明します。ログイン後、本製品を設定および管理できます。

前提条件

- 実行中のファイアウォールまたはセキュリティソフトウェアがすべてオフの状態
- ブラウザのプロキシサーバがオフの状態

手順

1. ブラウザを起動し、アドレスバーに http://192.168.1.1 (本製品のデフォルトのメンテナンス IP アドレス) を入力します。Enter キーを押します。ログインページが表示されます。図 2-1 を参照してください。

図 2-1 ログイン画面



The screenshot shows a web browser window displaying a login page. At the top left, there is a lock icon. To its right, the text reads "H8748Q V2 へようこそ。ログインしてください。". Below this, there are two input fields: the first is labeled "ユーザー名" (Username) and the second is labeled "パスワード" (Password). At the bottom right of the form area, there is a blue button with the text "ログイン" (Login).

2. ユーザー名 : admin とパスワード (本製品ラベルに記載の Web PW) を入力します。
3. 「ログイン」をクリックします。
 - 初回ログイン : 「パスワード変更」ダイアログが表示されます。図 2-2 を参照してください。

図 2-2 パスワード変更ダイアログボックス



ログイン画面 -パスワード変更-

パスワードは8文字以上で、半角英数字及び記号を含む必要があります。

ユーザー名 admin

新パスワード

パスワードの確認

設定 キャンセル

- ログイン後、メインページが表示されます。図 2-3 を参照してください。

図 2-3 メインページ



MEGA EGG 現在時刻:1970-01-01T01:27 admin ログアウト 日本語 | English

ホーム トポロジー インターネット LAN 管理&診断

WAN設定

ファイアウォール

無線LANデバイスリスト

名前	MACアドレス	IPv4アドレス	IPv6アドレス

©2008-2025 ZTE Corporation. All rights reserved | H8748Q V2 V2.0.0P3_ENECOM

4. (オプション操作) 後続設定、トラブルシューティング、アップグレード操作のために、デバイスタイプ、ソフトウェアバージョン番号、ハードウェアバージョン番号などのデバイス情報を確認するには、次の操作を実行します。
 - a. 本製品のメインページで、[管理と診断] > [ステータス] を選択します。[デバイス情報] ページが表示されます。図 2-4 を参照してください。

図 2-4 デバイス情報ページ

▼ デバイス情報	
デバイスタイプ	H8748Q V2
デバイスのシリアル番号	ZTEMHA5QBN00010
ハードウェアバージョン	V2.0.00
ソフトウェアバージョン	V2.0.0P3_ENECOM
ブートバージョン	V1.0.0
動作モード	コントローラー(ルーター)

[更新](#)

- b. 「更新」 ボタンをクリックして最新の情報を取得します。

3 トポロジーの確認

概要

トポロジー画面では、管理者またはユーザーがネットワーク管理、トラブルシューティング、最適化を改善するために、ネットワークシステム内のコンポーネントの接続関係を確認できます。

ユーザー管理画面には、すべてのアクセスポイントに関する情報と、接続されたワイヤレスおよび有線クライアントの詳細が表示されます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、トポロジーを選択します。トポロジー画面が表示されます。図 3-1 を参照してください。

図 3-1 トポロジー画面



2. すべての AP をクリックしてすべての AP エリアを展開します。図 3-2 を参照してください。

図 3-2 すべての AP エリア

▼ すべてのAP					
AP名	IP	MAC	モード	バックホール	操作エリア
ZTE:H8748Q V2	192.168.1.1	00:19:c6:51:00:24	controller	/	<input type="button" value="修正"/>

3. すべてのクライアントをクリックしてすべてのクライアントエリアを展開します。図 3-3 を参照してください。

図 3-3 すべてのクライアントエリア

▼ すべてのクライアント				
クライアント名	接続先デバイス	関連バンド	RSSI	操作エリア
DESKTOP-69HGB00	controller	ETH	/	<input type="button" value="修正"/>

4. 「修正」ボタンをクリックしてクライアント名を修正できます。表 3-1 の接続パラメーター一覧を参照してください。

表 3-1 接続パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
すべてのAP	
AP名	APの名前
IP	APのIPアドレス
MAC	APのMACアドレス
モード	APのメッシュ接続モード : controller または agent
バックホール	メッシュ接続がエージェントの場合のバックホール接続状態
操作エリア	「修正」ボタンの表示
すべてのクライアント	
クライアント名	クライアントの名前
接続先デバイス	クライアントの接続先デバイス
関連バンド	クライアントの関連バンド
RSSI	クライアントの受信信号強度
操作エリア	「修正」ボタンの表示

5. クライアント名変更後は「OK」ボタンをクリックして変更を保存します。

4 インターネット設定

4.1 ネットワークインタフェースの確認

4.1.1 インターネットインタフェース情報の確認

概要

インターネットインタフェース情報画面で、インターネットインタフェースの詳細なステータスを確認することができます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、[インターネット] > [ステータス] > [インターネット] > [インターネットインタフェース情報]を選択します。インターネットインタフェース情報画面が表示されます。図 4-1 を参照してください。

図 4-1 インターネットインタフェース情報画面



▼ インターネットインタフェース情報

インタフェース名	WAN
MACアドレス	00:19:c6:51:00:24
ステータス	リンクなし
受信パケット数/受信バイト数	0/0
送信パケット数/送信バイト数	0/0

更新

2. 「更新」ボタンをクリックして、最新情報を更新します。表 4-1 のインターネットインタフェース情報パラメータを参照してください。

表 4-1 インターネットインタフェース情報パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
MACアドレス	本製品がインターネット接続で使用するWANポートのMACアドレス
ステータス	接続状態
受信パケット数/	受信したパケットの数と受信したバイト数を表示します。例として、「1000パケット

受信バイト数	/100MBとは、1000個のパケットと100 MBのバイトが受信されたことを意味します
送信パケット数/ 送信バイト数	送信されたパケットの数と送信されるバイト数を表示します。例として、「500パケット/50MB」とは、500個のパケットと50 MBバイトが送信されていることを意味します。

4.1.2 インターネット接続情報の確認

概要

インターネット接続ステータス画面、インターネット接続の詳細なステータスについて確認することができます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、[インターネット] > [ステータス] > [インターネット] > [インターネット接続ステータス]を選択します。インターネット接続ステータス画面が表示されます。図 4-2 を参照してください。

図 4-2 インターネット接続ステータス画面

接続名	megaegg
タイプ	PPPoE
IPバージョン	IPv4/v6
NAT	オン
IPアドレス	0.0.0.0/0.0.0.0
DNSアドレス	0.0.0.0/0.0.0.0/0.0.0.0
IPv4接続ステータス	切断
IPv4オンライン期間	0 時 0 分 0 秒
切断理由	WAN接続が無効
LLA	::
GUA	::
プレフィックス	None
DNSアドレス	::/::
IPv6接続ステータス	切断
IPv6オンライン期間	0 時 0 分 0 秒
WANMAC	00:19:c6:51:00:26
接続名	bridge_lan4
タイプ	ブリッジ接続

[更新](#)

2. 「更新」ボタンをクリックして、最新情報を更新します。表 4-2 の接続ステータスパラメーター一覧を参照してください。

表 4-2 インターネット接続ステータスパラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
接続名	インターネット接続名 v6プラス（MAP-E RA）：MAP-E RA接続方式 v6プラス（MAP-E PD）：MAP-E PD接続方式 megaegg：PPPoE接続方式
タイプ	接続タイプ、IP、PPPoE、およびブリッジ接続
IPバージョン	使用するIPバージョン、IPv4またはIPv6
LLA	本製品のリンクローカルアドレス（LLA）、LLAはリンク内通信のためのIPv6の特別なユニキャストアドレスです。アドレス範囲はfe80 ::/10で、プレフィックスはfe80 ::/64です。
GUA	本製品のグローバルユニキャストアドレス（GUA）、GUAはIPv6でのグローバル通信に使用されるアドレスタイプです。
プレフィックス	WANから本製品へ通知されたIPv6プレフィックスアドレス
DNS	WANから本製品へ通知されたDNSサーバーのアドレス、DNSサーバーは、ドメイン名をIPアドレスに解決して、ネットワークサービスへのアクセスを実装します。
IPv6ゲートウェイ	本製品が接続しているIPv6ゲートウェイアドレス、接続先のルーターまたはネットワークデバイスのIPアドレスを表示します。
IPv6接続ステータス	IPv6接続ステータスを表示し、イーサネット接続が正常に確立されているかどうか、エラーまたは警告があるかどうかを表示します。
IPv6オンライン期間	IPv6のオンライン時間の表示
NAT	NAT機能使用状態の表示
IPアドレス	PPPoE通信でWANから通知されたIPv4アドレス
IPv4接続ステータス	IPv4接続ステータスを表示し、イーサネット接続が正常に確立されているかどうか、エラーまたは警告があるかどうかを表示します。
IPv4オンライン期間	IPv4のオンライン時間の表示
切断理由	インターネット接続が切断されている理由に関する情報を表示します。これにより接続失敗のトラブルシューティングに役立ちます。
WAN MAC	インターネット接続で使用する本製品のWANポートのMACアドレス

4.2 インターネット接続の設定

概要

このセクションでは、インターネット接続を設定する方法について説明します。

関連情報

● 10G WAN アップリンク

- 10G WAN ポートにイーサネットケーブルが挿入されていないなどでリンクダウン状態の場合、インターネット画面のインターネットタイプはリンクなしで、PPPoE 接続用のパラメータを設定できます。図 4-3 を参照してください。

図 4-3 インターネット設定画面

The screenshot shows the 'インターネット 構成' (Internet Configuration) section. The 'インターネットタイプ' (Internet Type) is set to 'リンクなし' (Link Down). Below this, there are input fields for '認証ID' (Authentication ID), '認証パスワード' (Authentication Password) (masked with dots), and a dropdown for 'IPバージョン' (IP Version) set to 'IPv4/v6'. At the bottom right, there are two buttons: '設定' (Settings) and 'キャンセル' (Cancel).

- 10G WAN ポートがリンクアップしている場合、本製品は、インターネット用 WAN 接続ラインを自動的に検出します。インターネット画面では、インターネットタイプのステータスが自動検出として表示されます。図 4-4 を参照してください。

図 4-4 インターネット設定（検出中）画面

The screenshot shows the 'インターネット 構成' (Internet Configuration) section. The 'インターネットタイプ' (Internet Type) is set to '自動検出中' (Automatic Detection). Below this, there is a message: '検出中、検出結果は5秒ごとに更新されますので、お待ちください...' (Detecting, detection results are updated every 5 seconds, please wait...). There is an information icon (i) to the left of the message.

一定期間後、検出結果が表示されます。

- ✓ インターネットタイプが PPPoE に設定されている場合、ユーザー名、パスワード、IP バージョンが表示されます。
- ✓ インターネットタイプが v6 プラス (MAP-E RA) または v6 プラス (MAP-E PD) に設定されている場合、現在の検出結果のみが表示され、他のパラメータは表示されません。

● **本製品は以下の方法でインターネット接続を自動的に検出します。**

- v6 プラス接続が最初に検出されます。v6 プラスは、MAP-E RA および MAP-E PD のシーケンスでポーリングされます。ポーリング時間は 60 秒です。v6 プラスラインを接続できない場合は、PPPoE 構成画面となります。図 4-5 を参照してください。
- 本製品の電源がオフになってから再起動された後、最後に選択されたインターネット接続ラインを使用します。60 秒以内に WAN 用の IP アドレスを取得できない場合、自動検出シーケンスに従って検出が実行されます。
- インターネット接続が自動的に検出された後、インターネット接続ステータス画面で接続状態の詳細を表示できます。接続状態を表示する方法については、[4.1.2 インターネット接続情報の確認]を参照してください。

手順

1. Web 管理メイン画面で、[インターネット] > [WAN] > [インターネット構成]を選択します。インターネット構成画面が表示されます。図 4-5 を参照してください。

図 4-5 インターネット構成画面

2. megaegg (PPPoE) 接続の場合には、インターネット接続パラメータを設定します。表 4-3 を参照してください。

表 4-3 インターネット構成パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
認証ID/認証パスワード	ISP（インターネット接続プロバイダ）から提供された認証ID、認証パラメータを設定してください。
IPバージョン	IPバージョンは以下の3つです： <ul style="list-style-type: none"> ● IPv4 ● IPv6 ● IPv4/IPv6

3. 「設定」ボタンをクリックして、変更を適用します。

セキュリティ設定

4.2.1 フィルタ設定

概要

このセクションで URL フィルター、IP アドレスフィルターなどの各フィルターを構成する方法について説明します。

- フィルタスイッチとモードの構成：フィルター機能を有効にし、フィルターモード（ブラックリストやホワイトリストなど）を設定する必要があります。
- URL フィルター：ユーザーの URL 要求をフィルター処理して、特定の Web リソースへのアクセスを許可または禁止することで、インターネット アクセスの動作を標準化し、セキュリティリスクと帯域幅の乱用を減らし、作業効率を向上させます。
- IP フィルター：アクセスルールを設定して、特定の IP アドレスがネットワークリソースにアクセスできるように許可または禁止することで、機密情報のセキュリティを保護し、アクセス制御を実装します。

手順

● フィルタスイッチとモード設定

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[インターネット] > [セキュリティ] > [フィルタ条件]を選択して、フィルタ条件画面に入ります。URL フィルタの使用とモードをフィルタスイッチとモード設定画面で設定します。図 4-6 を参照してください。

図 4-6 フィルタスイッチとモード設定画面

▼ フィルタスイッチとモード設定

URLフィルタ オン オフ

モード

設定 キャンセル

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 4-4 を参照してください。

表 4-4 フィルタースイッチ、モードパラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
URLフィルタ	<ul style="list-style-type: none"> ● オン: URLフィルタが有効 ● オフ: URLフィルタが無効
モード	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラック リスト: URLフィルター リスト内で指定されたアドレスのデバイスはアクセスできません。 ● ホワイト リスト: URLフィルター リスト内で指定されたアドレスのデバイスのみがアクセスできます。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

● URL フィルタの設定

1. URL フィルタ画面を開いて URL を指定します。図 4-7 参照してください。

図 4-7 URL フィルタ画面

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 4-5 を参照してください。

表 4-5 URL フィルタパラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
名前	URLフィルタの名前となります。
URL	フィルタで使用するURLを設定します。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

4. 「新しいアイテムを作成する」をクリックするとフィルタ設定を追加できます。

5. 設定画面右上のゴミ箱イメージをクリックするとフィルタ設定を削除します。

● IP フィルタの設定

1. IP フィルタ画面を開いて IP フィルタを設定します。図 4-8 を参照してください。

図 4-8 IPフィルタ画面

▼ IPフィルタ

[ファイアウォールIPフィルタを構成する際に注意すべきことは何ですか?](#)

▼ 新しいアイテム オン オフ 🗑️

名前	<input type="text"/>
モード	<input checked="" type="radio"/> 許可 <input type="radio"/> 破棄
優先度	<input type="text" value="1"/>
IPバージョン	<input type="text" value="任意"/> ▼
送信元IPアドレス	<input type="text"/> / <input type="text"/>
宛先IPアドレス	<input type="text"/> / <input type="text"/>
プロトコル	<input type="text" value="任意"/> ▼
対象インターフェース(in)	<input type="text" value="任意"/> ▼
対象インターフェース(out)	<input type="text" value="任意"/> ▼
DSCP	<input type="text"/>

+ 新しいアイテムを作成する

2. パラメータを設定します。表 4-6 を参照してください。

表 4-6 IPフィルタパラメータ

パラメータ	パラメータの説明
オン/オフ	<ul style="list-style-type: none"> ● オン: IPフィルタが有効 ● オフ: IPフィルタが無効
名前	URLフィルタの名前となります
モード	<ul style="list-style-type: none"> ● 許可: パケット受信を許可 ● 破棄: パケットを破棄
優先度	IPフィルタの優先度の値を指定します。優先度は1から20までです
IPバージョン	IPアドレスのバージョンを任意、IPv4、IPv6から選択します
送信元IPアドレス/宛先IPアドレス	送信元と宛先のIPアドレスとネットマスク
プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> ● ICMP ● TCP ● UDP

	<ul style="list-style-type: none"> ● 任意（プロトコル指定なし） ● TCPとUDP ● その他（その他を選択後、プロトコル番号を指定してください。）
対象インタフェース（IN）	<ul style="list-style-type: none"> ● 任意：LAN、インターネット両方からのパケット ● LAN：LAN側からのパケット ● DHCP：インターネット側からのパケット
対象インタフェース（OUT）	<ul style="list-style-type: none"> ● 任意：LAN、インターネット両方へのパケット ● LAN：LAN側へのパケット ● DHCP：インターネット側へのパケット
DSCP	IPヘッダのDSCP値（0から63まで）

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。
4. 「新しいアイテムを作成する」をクリックするとフィルタ設定を追加できます。
5. 設定画面右上のゴミ箱イメージをクリックするとフィルタ設定を削除します。

4.2.2 DMZ 設定

概要

このセクションでは、DMZ の設定方法について説明します。DMZ 設定により、宛先 IP アドレスとポート番号を外部ネットワーク アドレス（ネットワーク側）から内部ネットワーク アドレス（ユーザー側）に変換し、内部ネットワークサーバーにアクセスできるようにします。

手順

注:

デバイスを DMZ ゾーンに配置すると、セキュリティリスクが増大する可能性があります。DMZ 機能を有効にする前にファイアウォール設定やアクセス制御など、デバイスに適切なセキュリティ対策が講じられていることを確認する必要があります。

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[インターネット] > [セキュリティ] > [DMZ]を選択して、DMZ ページに入ります。図 4-9 を参照してください。

図 4-9 DMZ 設定パラメータ

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 4-7 を参照してください。

表 4-7 DMZ 設定パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
DMZ	<ul style="list-style-type: none"> ● オン: DMZが有効 ● オフ: DMZが無効
DMZホストのIPアドレス	外部ネットワークから接続するクライアントデバイスのLAN用IPアドレスを指定します。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

4.2.3 ポートアドレス変換設定

概要

このセクションでは、ポートアドレス変換設定方法について説明します。ポートアドレス変換設定により、指定されたプロトコル、ポート番号のメッセージを外部ネットワークアドレス（ネットワーク側）から内部ネットワークアドレス（ユーザー側）に変換し、内部ネットワークサーバーにアクセスできるようにします。

手順

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[インターネット] > [セキュリティ] > [ポートアドレス変換]を選択して、ポートアドレス変換ページに入ります。図 4-10 を参照してください。

図 4-10 ポートアドレス変換設定パラメータ

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 4-8 を参照してください。

表 4-8 ポートアドレス変換設定パラメータ

パラメータ	パラメータの説明
オン/オフ	<ul style="list-style-type: none"> ● オン: ポートアドレス変換が有効 ● オフ: ポートアドレス変換が無効
名前	URLフィルタの名前となります。
プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> ● TCP ● UDP ● TCPとUDP
LAN側ホスト	外部ネットワークから接続するクライアントデバイスのLAN用IPアドレスを指定します。
WANポート	外部ネットワーク側のポート番号を指定します。
LANホストポート	外部ネットワークから接続するクライアントデバイス側のポート番号を指定します。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。
4. 「新しいアイテムを作成する」をクリックするとフィルタ設定を追加できます。
5. 設定画面右上のゴミ箱イメージをクリックするとフィルタ設定を削除します。

4.3 時刻の設定

概要

このセクションでは本製品でのクロック同期サーバー情報とタイムゾーン情報の設定方法を説明します。

手順

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[インターネット] > [時刻の設定]を選択して、SNTP ページに入ります。図 4-11 を参照してください。

図 4-11 SNTP 画面

▼ SNTP

現在の日付と時刻	1970-01-01T01:34:20
タイムゾーン	(GMT+09:00) Osaka,Sapporo,Tokyo
NTPサーバー1	ntp.nict.jp
NTPサーバー2	
NTPサーバー3	
NTPサーバー4	
NTPサーバー5	
ポーリング間隔	86400 秒

設定 キャンセル

2. パラメータを設定します。パラメータの説明については表 4-9 を参照してください。

表 4-9 SNTP パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
タイムゾーン	タイムゾーンはGMT+9:00固定です。
NTPサーバー1-5	接続するNTPサーバのIPアドレスまたはホスト名 NTPサーバー1の初期値はntp.nict.jp
ポーリング間隔	NTPサーバーへ同期用要求パケットを送信する間隔です。 範囲:は3600~86400、単位は秒です。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

4.4 マルチキャスト設定

4.4.1 IGMP モード設定

概要

マルチキャスト設定時に WAN 接続を選択する目的は、マルチキャストパケットがホームネットワークと外部ネットワーク間で正しく送信されるようにするためです。IPv4 ネットワークの場合、選択した WAN 接続は IGMP をサポートしている必要があります。

手順

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[インターネット] > [マルチキャスト] > [IGMP]を選択して、IGMP ページに入ります。図 4-12 を参照してください。

図 4-12 IGMP モード



2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 4-10 を参照してください。

表 4-10 IGMP モードパラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
IGMPプロキシ	<ul style="list-style-type: none">● オン: IGMPプロキシが有効● オフ: IGMPプロキシが無効

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

4.4.2 MLD モード設定

概要

MLD は IGMP の IPv6 バージョンです。

手順

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[インターネット] > [マルチキャスト] > [MLD]を選択して、MLD ページに入ります。図 4-13 を参照してください。

図 4-13 MLD モード



2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 4-11 を参照してください。

表 4-11 MLD モードパラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
MLDプロキシ	<ul style="list-style-type: none">● オン: MLDプロキシが有効● オフ: MLDプロキシが無効

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

5 LAN 接続の確認

5.1 無線 LAN の設定

5.1.1 無線 LAN 設定

概要

このセクションでは、無線 LAN ステータスを確認する方法について説明します。

- 無線 LAN ステータスを表示することで、無線 LAN ステータス情報を取得し、ワイヤレスネットワークのパフォーマンスと安定性を判断することができます。
- WLAN クライアントステータスを確認することで、デバイスの数、接続ステータス、信号強度など、ワイヤレスネットワークに接続されているクライアントデバイスに関する詳細情報を取得できます。この情報は、潜在的なネットワークの問題を発見し、ネットワーク パフォーマンスをタイムリーに最適化するのに役立ちます。

手順

- **無線 LAN ステータスの確認**

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[LAN] > [ステータス無線] > [LAN ステータス]を選択して、無線 LAN ステータスを表示します。図 5-1 を参照してください。

図 5-1 無線 LAN ステータス画面

▼ 無線LANステータス			
無線LAN基本ステータス			
無線LAN (2.4GHz)	オン	チャンネル (2.4GHz)	8
無線LAN (5GHz)	オン	チャンネル (5GHz)	60
無線LAN (6GHz)	オン	チャンネル (6GHz)	37
2.4GHz-Pri			
SSID名	egg-10024	MACアドレス	00:19:c6:51:00:24
SSIDスイッチ	オン	受信パケット数 / 送信パケット数	0/0
暗号化タイプ	WPA2-PSK/WPA3-SAE	受信バイト数/送信バイト数	0/0
2.4GHz-Sec			
SSID名	egg-2g-10024	MACアドレス	02:19:c6:11:00:24
SSIDスイッチ	オン	受信パケット数 / 送信パケット数	0/0
暗号化タイプ	WPA2-PSK-AES	受信バイト数/送信バイト数	0/0
5GHz-Pri			
SSID名	egg-10024	MACアドレス	00:19:c6:51:00:25
SSIDスイッチ	オン	受信パケット数 / 送信パケット数	0/0
暗号化タイプ	WPA2-PSK/WPA3-SAE	受信バイト数/送信バイト数	0/0
5GHz-Sec			
SSID名	egg-5g-10024	MACアドレス	02:19:c6:11:00:25
SSIDスイッチ	オン	受信パケット数 / 送信パケット数	0/0
暗号化タイプ	WPA2-PSK-AES	受信バイト数/送信バイト数	0/0
6GHz-Pri			
SSID名	egg-10024	MACアドレス	00:19:c6:51:00:26
SSIDスイッチ	オン	受信パケット数 / 送信パケット数	0/0
暗号化タイプ	WPA3-SAE	受信バイト数/送信バイト数	0/0
6GHz-Sec			
SSID名	egg-6g-10024	MACアドレス	02:19:c6:11:00:26
SSIDスイッチ	オン	受信パケット数 / 送信パケット数	0/0
暗号化タイプ	WPA3-SAE	受信バイト数/送信バイト数	0/0

[更新](#)

2. 「更新」ボタンをクリックすると最新情報を表示します。

● **無線 LAN クライアントステータスの確認**

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[LAN] > [ステータス] > [無線 LAN ステータス]を選択して、無線 LAN ステータスを表示します。図 5-2 を参照してください。

図 5-2 無線 LAN クライアントステータス画面

▼ 無線LANクライアントステータス			
クライアント-1			
SSID	SSID5	名前	DESKTOP-69HGB00
IPv4アドレス	192.168.0.2	MACアドレス	c8:09:a8:6d:24:dc
IPv6アドレス			
アクセスモード			

[更新](#)

2. 「更新」ボタンをクリックすると最新の情報を表示します。

5.1.2 無線 LAN 基本パラメータの設定

概要

基本的な 無線 LAN パラメータは、無線 LAN の適切な動作の保証、セキュリティの強化、ネットワーク管理および制御のために使用されます。

以下の無線 LAN パラメータを設定することができます。

- 無線 LAN のオン/オフ: 無線 LAN 機能を有効または無効にします。
- 無線 LAN グローバル構成: 通信チャンネル、動作モード、国/地域、帯域幅などのグローバルの無線 LAN パラメータを設定し、ネットワークパフォーマンスを最適化、コンプライアンスの確保を行います。
- 無線 LAN SSID 設定: 無線 LAN SSID 設定と、SSID 非表示設定、暗号化タイプ、パスワードなどの関連設定を定義し、ネットワークの可用性とセキュリティを確保します。

手順

● 無線 LAN のオン/オフ設定

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[LAN] > [ステータス] > [無線 LAN] > [無線 LAN 基本] を選択して、無線 LAN 基本ページに入り、無線 LAN オン/オフ設定を表示します。図 5-3 を参照してください。

図 5-3 無線 LAN オン/オフ設定

▼ 無線LANオン/オフ設定

無線LAN (2.4GHz) オン オフ

無線LAN (5GHz) オン オフ

無線LAN (6GHz) オン オフ

設定 キャンセル

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-1 を参照してください。

表 5-1 WLAN オン/オフ設定パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
無線LAN (2.4GHz)	<ul style="list-style-type: none">● オン: 2.4GHz帯が有効● オフ: 2.4GHz帯が無効
無線LAN (5GHz)	<ul style="list-style-type: none">● オン: 5GHz帯が有効● オフ: 5GHz帯が無効
無線LAN (6GHz)	<ul style="list-style-type: none">● オン: 6GHz帯が有効● オフ: 6GHz帯が無効

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

● 無線 LAN 詳細設定

1. 無線 LAN 詳細設定を表示して設定します。図 5-4 を参照してください。

図 5-4 無線 LAN 詳細設定画面

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-2 を参照してください。

表 5-2 無線 LAN 詳細設定パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
チャンネル	<p>無線LAN で使用される通信チャンネルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.4GHz: Autoまたは1~13 ● 5GHz: Autoまたは36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144 ● 6GHz: Autoまたは 1, 5, 9, 13, 17, 21, 25, 29, 33, 37, 41, 45, 49, 53, 57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93
モード	<ul style="list-style-type: none"> ● 2.4GHz: <ul style="list-style-type: none"> IEEE 802.11b のみ IEEE 802.11g のみ IEEE 802.11n のみ <ul style="list-style-type: none"> (802.11b/g) (802.11g/n) (802.11b/g/n) (802.11b/g/n/ax)

	<p>(802.11b/g/n/ax/be)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5GHz: IEEE 802.11a のみ IEEE 802.11n のみ IEEE 802.11ac のみ (802.11a/n) (802.11a/n/ac) (802.11a/n/ac/ax) (802.11a/n/ac/ax/be) ● 6GHz: IEEE 802.11ax のみ (802.11ax/be)
帯域幅	<p>帯域幅を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.4GHz: 自動、20MHz、40MHz, 初期値: 20MHz ● 5GHz: 自動、20MHz、40MHz、80MHz、160MHz, 初期値: 80MHz ● 6GHz: 自動、20MHz、40MHz、80MHz、160MHz、320MHz, 初期値: 320MHz
SGI	<p>2.4GHz/5GHz/6GHz : 送信間隔を短くするには、このオプションをオンにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オン: オプションを有効にします。 ● オフ: オプションを無効にします。
ビーコン間隔	<p>ビーコン間隔を設定します。</p> <p>2.4GHz/5GHz/6GHz : 100 ~1000</p> <p>初期値: 100</p>
送信出力	<p>送信電力を選択します。</p> <p>2.4GHz/5GHz/6GHz : 100%、80%、60%、40%、20%</p> <p>初期値: 100%</p>
PSC	<p>PSC はPower Save Classの略称で、6GHz用のパラメータです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オン: 省電力モードをオンにします。低消費電力状態になります。 ● オフ: 省電力モードをオフにします。

3. 各帯域の設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を完了します。

● 無線 LAN SSID の設定

1. 無線 LAN SSID の設定を表示して設定します。図 5-5 を参照してください。

図 5-5 無線 LAN SSID の設定

▼ 無線LAN SSIDの設定

▼ 2.4GHz-Pri オン オフ

SSID名

SSIDステルス機能 オン オフ

暗号化タイプ

WPAパスワード

パスワードを表示

最大クライアント数

▶ 2.4GHz-Sec オン オフ

▶ 5GHz-Pri オン オフ

▶ 5GHz-Sec オン オフ

▶ 6GHz-Pri オン オフ

▶ 6GHz-Sec オン オフ

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-3 を参照してください。

表 5-3 無線 LAN SSID 設定パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
2.4GHz-Pri 2.4GHz-Sec 5GHz-Pri 5GHz-Sec 6GHz-Pri 6GHz-Sec	<ul style="list-style-type: none"> ● オン：選択した SSID の設定を有効にします。 ● オフ：選択した SSID の設定を無効にします。
SSID名	SSIDの名前を設定します。
SSIDステルス機能	ステルス機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● オン：SSID ステルス機能を有効にします。 ● オフ：SSID ステルス機能を無効にします。 初期値：オフ

3. 各 SSID の設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

5.1.3 無線 LAN 拡張パラメータの設定

概要

このセクションでは、アクセス制御モードやアクセス制御ルールなどの高度な無線 LAN パラメータを設定する方法について説明します。アクセス制御モードとルールは、ネットワーク セキュリティを強化し、承認されたデバイスまたはユーザーのみがネットワークリソースにアクセスできるようにするために使用されます。

- アクセス制御モードの設定: アクセス制御モードは、ネットワークリソースにアクセスできるデバイスまたはユーザーを制御するために使用されます。アクセス制御モードには、フィルターなし、ブラックリストモード、ホワイトリストモードがあります。
- アクセス制御ルールの設定: アクセス制御ルールは、特定の SSID に接続できるデバイスを制御するために使用されます。これらのルールは、デバイス名、SSID、および MAC アドレスに基づいて設定されます。
- アクセス制御ルールテーブル: アクセス制御ルールテーブルは、特定のデバイスのネットワークアクセス権限を明示的に許可または拒否することで、ワイヤレスネットワーク (無線 LAN) または有線ネットワーク (LAN) のセキュリティと管理効率を強化するために使用されます。

手順

● アクセス制御モード設定

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[LAN] > [ステータス] > [無線 LAN] > [無線 LAN 拡張] を選択して、無線 LAN 拡張ページに入り、アクセス制御-モード設定を表示します。図 5-6 を参照してください。

図 5-6 アクセス制御-モード設定

▼ アクセス制御-モード設定		
2.4GHz-Pri	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト <input type="radio"/> ホワイトリスト
2.4GHz-Sec	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト <input type="radio"/> ホワイトリスト
5GHz-Pri	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト <input type="radio"/> ホワイトリスト
5GHz-Sec	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト <input type="radio"/> ホワイトリスト
6GHz-Pri	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト <input type="radio"/> ホワイトリスト
6GHz-Sec	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト <input type="radio"/> ホワイトリスト

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-4 を参照してください。

表 5-4 アクセス制御モード設定パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
フィルタなし	SSIDのアクセス制限を行いません。
ブラックリスト	登録されたSSIDからの接続を拒否する時に使用します。
ホワイトリスト	登録されたSSIDからの接続を許可する時に使用します。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

● アクセス制御ルール設定

1. アクセスル制御-ルール設定を表示して設定します。図 5-7 を参照してください。

図 5-7 アクセス制御 ルール設定

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-5 を参照してください。

表 5-5 アクセス制御ルール設定

パラメータ名	パラメータの説明
名前	アクセス制御の名前を設定します。
SSID	SSIDを選択してアクセスを制御するSSIDを設定します。
MACアドレス	無線デバイスのMACアドレスを設定します。 MACアドレス入力の下に「関連するデバイスから選択」をクリックすると接続中のデバイスのMACアドレスを指定できます。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

4. 「新しいアイテムを作成する」をクリックするとアクセス制御ルールを追加できます。

5. 設定画面右上のゴミ箱イメージをクリックするとアクセス制御ルールを削除します。

● アクセス制御ルールテーブルの参照

1. アクセス制御ルールテーブルを表示して設定中のアクセス制御ルールを参照できます。図 5-8 を参照してください。

図 5-8 アクセス制御ルールテーブル

▼ アクセス制御ルールテーブル		
SSID名	MACアドレス	ACLポリシー
SSID1	8e:15:88:88:74:b9	Ban
SSID5	8e:15:88:88:74:b9	Ban
SSID9	8e:15:88:88:74:b9	Ban

2. 「更新」ボタンをクリックすると最新の情報を表示します。

5.1.4 MLO の設定

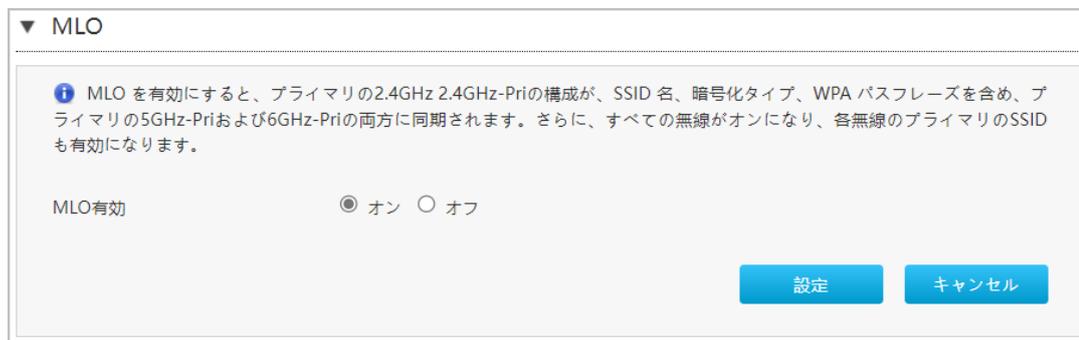
概要

このセクションでは、MLO 機能の設定方法について説明します。MLO テクノロジーにより、ルーターは 2.4GHz と 5GHz の両方の周波数帯域をデータ伝送に使用できるため、ネットワークの速度と安定性が大幅に向上します。1 つの周波数帯域が干渉を受けたり、負荷がかかったりすると（たとえば、HD ビデオストリーム伝送や大容量ファイルの伝送）、システムは自動的に他の周波数帯域に切り替え、ネットワークアクセスの遅延を効果的に削減し、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。

手順

1. Web 管理メインページで、メニュー[LAN] > [無線 LAN] > [MLO]を選択し、MLO 設定ページを開きます。図 5-9 を参照してください。

図 5-9 MLO 設定画面



2. パラメータを設定します。パラメータの説明については表 5-6 を参照してください。

表 5-6 MLO モードパラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
MLO有効	<ul style="list-style-type: none">● オン: MLO機能を有効にする。● オフ: MLO機能を無効にする。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

5.1.5 WPS の設定

概要

WPS 機能を有効にすると、デバイスはネットワーク名とワイヤレス暗号化キーを自動的に構成できるため、ワイヤレスネットワーク暗号化の構成プロセスが簡素化されます。WPS は高速なネットワーク接続を提供しますが、セキュリティ上のリスクも伴う可能性があります。セキュリティ要件が高いシナリオでは、WPS 機能を無効にすることをお勧めします。

手順

1. Web 管理メインページで、メニュー [LAN] > [無線 LAN] > [WPS] を選択して、WPS 設定ページに入ります。図 5-10 を参照してください。

図 5-10 WPS 設定画面

▼ WPS

[WPS を設定する際に注意すべきことは何ですか?](#)

▼ 2.4GHz

WPSモード

設定

▶ 5GHz

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-7 を参照してください。

表 5-7 WPS モードパラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
WPSモード	<ul style="list-style-type: none">● PBC (プッシュボタン接続): 本製品のWPSボタンで操作できるようになります。● 無効: WPSモードが「無効」に設定されている場合、WPS動作は完全に停止されます。ユーザーはWPSのクイック接続機能を使用して無線接続を確立することができず、SSIDやパスワードの入力などを含むネットワーク設定を手動で構成する必要があります。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

5.1.6 無線 LAN バンドステアリング設定

概要

このセクションでは、無線 LAN バンドステアリング機能を設定する方法について説明します。

無線 LAN バンドステアリングは、ネットワーク負荷と信号強度に応じて、端末（携帯電話やラップトップなど）が 2.4G、5G、または 6G 周波数帯域を介して本製品にアクセスするようにガイドするように設定され、端末の Wi-Fi アクセスエクスペリエンスが向上します。

- クライアントデバイスが本製品に近い場合、バンドステアリング機能は端末を優先的に 6G 周波数帯域に接続するようにガイドします。これは 6G 周波数帯域は通常、より高速で干渉が少ないためです。（注：クライアントデバイスは 6G Wi-Fi アクセスをサポートしている必要があります。）
- クライアントデバイスが本製品から遠く離れている場合、または 6GHz 周波数帯域に多くのクライアント

がある場合、バンドステアリングはクライアントデバイスに 2.4G または 5GHz 周波数帯域に切り替えるように指示し、ワイヤレスエクスペリエンスを向上させることができます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[LAN] > [ステータス] > [無線 LAN] > [無線 LAN バンドステアリング]を選択して、無線 LAN バンドステアリングページに入ります。図 5-11 を参照してください。

図 5-11 無線 LAN バンドステアリング画面

2. パラメータを設定します。パラメータの説明については表 5-8 を参照してください。

表 5-8 無線 LAN バンドステアリング設定パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
バンドステアリング	<ul style="list-style-type: none">● オン: バンドステアリング機能を有効にします。● オフ: バンドステアリング機能を無効にします。 バンドステアリング機能を無効にすると、5GHz周波数帯のSSID名とパスワードは、バンドステアリング機能を有効にする前の設定に復元されます。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

5.1.7 メッシュ Wi-Fi 設定

概要

メッシュ Wi-Fi 機能を設定する目的は、シームレスで統一されたワイヤレスネットワークカバレッジを形成するためです。メッシュテクノロジーにより、複数のワイヤレスアクセスポイント（ルーターやエクステンダーなど）が連携して、統一された Wi-Fi ネットワークを形成できます。これにより、ユーザーが家庭内のどこにいても、デバイスは自動的に最も強い信号を持つアクセスポイントに切り替え、安定したネットワーク接続を維持できます。

注：

デフォルト設定では本製品のメッシュ Wi-Fi 機能は有効になっています。

手順

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[LAN] > [ステータス] > [無線 LAN] > [メッシュ Wi-Fi]を選択して、メッシュ Wi-Fi ページに入ります。図 5-12 を参照してください。

図 5-12 メッシュ Wi-Fi 画面



2. パラメータを設定します。パラメータについては表 5-9 を参照してください。

表 5-9 メッシュ Wi-Fi パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
メッシュ	<ul style="list-style-type: none">● オン:メッシュ機能有効● オフ:メッシュ機能無効

3. 「設定」ボタンをクリックして設定を完了します。

H3701Q とのメッシュ接続

注:

本製品とアクセスポイント製品の H3701Q でメッシュネットワークを構築できます。

メッシュネットワーク接続の前に、次の操作を完了する必要があります:

- 本製品で構成ウィザードに従ってネットワーク構成が完了し、メッシュ Wi-Fi 設定がオンによる動作モードはコントローラ (ルーター) です。
- H3701Q の電源がオンになっており、工場出荷時設定の状態です。
- H3701Q が適切な位置に配置されています。

以下のいずれかの方法でメッシュネットワークを構築します:

- 無線 LAN 接続: 本製品と H3701Q の WPS ボタンを 2 分以内にそれぞれ約 2 秒間押します。H3701Q 正面のステータス LED が緑色になると、メッシュネットワークが正常に設定されています。
- ネットワークケーブル接続: ネットワークケーブルを使用して、H3701Q の ETH インターフェイスを本製品の LAN インターフェイスに接続します。H3701Q 正面のステータス LED が緑色になると、メッシュネットワークが正常に設定されています。

5.2 LAN の設定

5.2.1 LAN ステータスの確認

概要

このセクションでは、LAN ステータスを確認して、LAN 内のデバイス接続を参照する方法について説明します。

- LAN ステータス: イーサネットポートの接続ステータス (接続されているかどうか、有効かどうか)、送受信されたバイト数とパケット数などの LAN 情報を表示します。
- LAN クライアントステータス: ポート、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、デバイス名、MAC アドレスなどの詳細な LAN クライアント情報を表示します。

手順

● LAN ステータスの確認

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[LAN] > [ステータス] > [LAN ステータス]を選択して、LAN ステータスを表示します。図 5-13 を参照してください。

図 5-13 LAN ステータス画面

▼ LANステータス			
LAN1			
MACアドレス	00:19:c6:51:00:24	ステータス	Up
IPv4アドレス	192.168.1.1	受信バイト数/送信バイト数	2446056/7475930
IPv6アドレス	fe80::1		
LAN2			
MACアドレス	00:19:c6:51:00:24	ステータス	リンクなし
IPv4アドレス	192.168.1.1	受信バイト数/送信バイト数	0/0
IPv6アドレス	fe80::1		
LAN3			
MACアドレス	00:19:c6:51:00:24	ステータス	リンクなし
IPv4アドレス	192.168.1.1	受信バイト数/送信バイト数	0/0
IPv6アドレス	fe80::1		
LAN4			
MACアドレス	00:19:c6:51:00:24	ステータス	リンクなし
IPv4アドレス	192.168.1.1	受信バイト数/送信バイト数	0/0
IPv6アドレス	fe80::1		
10G LAN			
MACアドレス	00:19:c6:51:00:24	ステータス	リンクなし
IPv4アドレス	192.168.1.1	受信バイト数/送信バイト数	0/0
IPv6アドレス	fe80::1		

[更新](#)

2. 「更新」ボタンをクリックすると最新の情報を表示します。

● LAN クライアントステータスの確認

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[LAN] > [ステータス] > [LAN クライアントステータス]を選択して、LAN クライアントステータスを表示します。図 5-14 を参照してください。

図 5-14 LAN クライアントステータス画面

▼ LANクライアントステータス			
クライアント-1			
ポート	LAN1	名前	DESKTOP-69HGB00
IPv4アドレス	192.168.1.2	MACアドレス	e8:d8:d1:6e:8a:4e
IPv6アドレス	fe80::acac:6641:88cf:1d63		

[更新](#)

2. 「更新」ボタンをクリックすると最新の情報を表示します。

5.2.2 LAN (IPv4) の設定

概要

このセクションでは、LAN (IPv4) を構成する方法について説明します。

インターネットステータスの関連情報には、割り当てられたアドレス (DHCP)、DHCP サーバー、DHCP バインディング、およびポート制御が含まれます。

手順

● 割り当てアドレス (DHCP)の確認

1. Web 管理メインページで、メニュー [LAN] > [LAN] > [IPv4] を選択して、LAN 設定ページに入り、割り当てアドレス (DHCP) を表示します。図 5-15 を参照します。

図 5-15 割り当てアドレス(DHCP) の表示



▼ 割り当てアドレス (DHCP)				
ホスト名	MACアドレス	IPアドレス	ポート	リース残時間
DESKTOP-69HGB00	e8:d8:d1:6e:8a:4e	192.168.1.2	LAN1	22時 27分 8秒

[更新](#)

2. 「更新」ボタンをクリックすると最新の情報を表示します。

● DHCP サーバ機能の設定

1. DHCP サーバーを表示し、DHCP サーバー機能を設定します。図 5-16 を参照してください。

図 5-16 DHCP サーバ設定画面

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-10 を参照してください。

表 5-10 DHCP サーバ設定パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
DHCPサーバー	<p>本製品を DHCP サーバとして機能させ、IP アドレスをクライアント PC または無線デバイスに割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オン：DHCPサーバー機能を有効にします。 ● オフ：DHCPサーバー機能を無効にします。
LAN側IPアドレス	LAN用のIPv4アドレス
サブネットマスク	LAN用のサブネットマスク
DHCP割当開始IPアドレス	DHCPアドレスプールの開始IPアドレス
DHCP割当終了IPアドレス	DHCPアドレスプールの終了IPアドレス
ISP DNSサーバー	<ul style="list-style-type: none"> ● オン：DNサーバーを手動設定します。 ● オフ：手動設定のDNSサーバーを無効にします。
プライマリDNSサーバー	ISPから提供されたDNSサーバーのIPアドレス
セカンダリDNSサーバー	ISPから提供されたDNSサーバー2のIPアドレス
リース期間モード	<p>リースタイムのモードを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カスタム：リース期間（秒）で時間設定を可能にします。

	● 無限：リース期間は無制限にします。
リース期間	リース期間モードをカスタムに設定したときのみ、設定が可能です。 クライアント PC が DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスを使用している時間を設定します。リース期限が切れると、プライベート IP アドレスは他のネットワークデバイスに割り当てられるようになります。 初期値：86400 範囲：60 ～ 157680000

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

● DHCP バインディング設定

1. DHCP バインディングを表示し、DHCP バインディング機能を設定します。図 5-17 を参照してください。

図 5-17 DHCP バインディング設定画面

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-11 を参照してください。

表 5-11 DHCP バインディング設定パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
名前	DHCPバインディングの名前を設定します。
MACアドレス	DHCPバインディングのMACアドレスを設定します。
IPアドレス	DHCPバインディングのIPアドレスを設定します。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

4. 「新しいアイテムを作成する」をクリックすると DHCP バインディングを追加できます。

5. 設定画面右上のゴミ箱イメージをクリックすると DHCP バインディングを削除します。

● ポート制御の設定

1. ポート制御画面を表示し、DHCP ポート制御機能を設定します。SSID ごとに DHCP 制御のオン、オフを指定します。図 5-18 を参照してください。

図 5-18 ポート制御機能画面

ポート名	オン	オフ
LAN1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
LAN2	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
LAN3	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
LAN4	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
10G LAN	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID2	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID3	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID5	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID6	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID7	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID8	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID9	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID10	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID11	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
SSID12	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

すべてオン | すべてオフ

設定 キャンセル

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-12 を参照してください。

表 5-12 ポート制御パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
LAN1-LAN4	<ul style="list-style-type: none"> ● オン: 各1G LAN portが有効 ● オフ: 各1G LAN portが無効
10G LAN	<ul style="list-style-type: none"> ● オン: 10G LAN portが有効 ● オフ: 10G LAN portが無効
SSID1-SSID12	<ul style="list-style-type: none"> ● オン: 各SSID portが有効 ● オフ: 各SSID portが無効

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

5.3 ルーティングの設定

5.3.1 IPv4 ルーティング設定

概要

この手順では、ルーティング（IPv4）情報を構成する方法について説明します。

関連するインターネット ステータスには、デフォルト ルーティング、ルーティング テーブル、静的ルーティング、およびポリシー ルーティングが含まれます。

- **ルーティングテーブル:** ルーティングテーブルをチェックして、デフォルトルートと静的ルートが正しいことを確認し、ルータがパケット転送パスを決定する方法を確認します。
- **静的ルーティング:** 静的ルーティング機能を使用すると、管理者はルータがパケットを特定の宛先ネットワークに転送する方法を手動で定義できます。
- **ポリシールーティング:** ポリシーベースルーティングは、さまざまなユーザーやアプリケーションに基づいてネットワーク帯域幅を割り当てたり、より細かいトラフィック制御を実装したりするなど、より複雑なネットワーク要件を満たすために使用されます。

手順

● ルーティングテーブルの確認

1. Web 管理メインページで、メニュー [LAN] > [ルーティング] > [IPv4] を選択して、IPv4 ページに入り、ルーティングテーブルを表示します。図 5-19 を参照してください。

図 5-19 ルーティングテーブルの表示

▼ ルーティングテーブル			
ネットワークアドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ	インタフェース
192.168.1.0	255.255.255.0	0.0.0.0	LAN

[更新](#)

2. 「更新」ボタンをクリックすると最新の情報を表示します。

● 静的ルーティングの設定

1. 静的ルーティング設定を表示します。図 5-20 を参照してください。

図 5-20 静的ルーティング (IPv4) 設定画面

▼ 静的ルーティング	
静的ルーティングを設定する際に注意すべき点は何ですか?	
▼ 新しいアイテム 🗑️	
名前	<input type="text"/>
Egress	選んでください ▼
ネットワークアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
ゲートウェイ	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
設定 キャンセル	
+ 新しいアイテムを作成する	

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-13 を参照してください。

表 5-13 静的ルーティング (IPv4) 設定パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
名前	静的ルーティングエントリの名前
Egress	<ul style="list-style-type: none"> ● LAN : LAN側ネットワーク ● DHCP : インターネット側ネットワーク
ネットワークアドレス	宛先ネットワークのネットワークアドレス、ネットワークアドレスとサブネットマスクの両方が0.0.0.0の場合、この構成は初期値のルーティングになり、どの宛先アドレスにも有効です。
サブネットマスク	宛先ネットワークのサブネットマスク
ゲートウェイ	ネットワークインターフェースが属するネットワークセグメントのゲートウェイ

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。
4. 「新しいアイテムを作成する」をクリックすると静的ルーティングエントリを追加できます。
5. 設定画面右上のゴミ箱イメージをクリックすると静的ルーティングエントリを削除します。

● ポリシールーティングの設定

ユーザーが独自に設定した特定の経路にデータを転送することができます。ポリシールーティングにより、通信経路の負荷を分散したり重要な帯域を保証したりすることができ、ネットワークの運用をより効率的に実現できます。

1. ポリシールーティング設定を表示します。図 5-21 を参照してください。

図 5-21 ポリシールーティング (IPv4) 設定画面

▼ ポリシールーティング

▼ 新しいアイテム 🗑️

名前

Egress 選んでください ▼

送信元IPアドレス

送信元マスク

宛先IPアドレス

宛先マスク

プロトコル 任意 ▼

送信元MACアドレス

関連するデバイスから選択

設定
キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-14 を参照してください。

表 5-14 ポリシールーティング (IPv4) 設定パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
名前	ポリシールーティングエントリの名前
Egress	<ul style="list-style-type: none"> ● LAN : LAN側ネットワーク ● DHCP : インターネット側ネットワーク
送信元IPアドレス	合致するパケットの送信元IPアドレス
送信元マスク	合致するパケットの送信元ネットマスク
宛先IPアドレス	合致するパケットの宛先IPアドレス
宛先マスク	合致するパケットの宛先ネットマスク
プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> ● ICMP : ポリシーにICMPを設定 ● TCP : ポリシーにTCPを設定 ● UDP : ポリシーにUDPを設定 ● 任意 : TCP、UDP、ICMPを設定
送信元MACアドレス	合致するパケットを送信する送信元デバイスのMACアドレス

	MACアドレス入力の下に「関連するデバイスから選択」をクリックすると接続中のデバイスのMACアドレスを指定できます。
--	--

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。
4. 「新しいアイテムを作成する」をクリックするとポリシールーティングエントリを追加できます。
5. 設定画面右上のゴミ箱イメージをクリックするとポリシールーティングエントリを削除します。

5.3.2 IPv6 ルーティング設定

概要

このセクションでは、ルーティング（IPv6）情報を構成する方法について説明します。

手順

● ルーティングテーブルの確認

1. Web 管理メインページで、メニュー [LAN] > [ルーティング] > [IPv6] を選択して、IPv6 ページに入り、ルーティングテーブルを表示します。図 5-22 を参照してください。

図 5-22 IPv6 ルーティングテーブル

▼ ルーティングテーブル		
プレフィックス	ゲートウェイ	インタフェース
fe80::1/128	::	LAN
fe80::/64	::	LAN

[更新](#)

2. 「更新」ボタンをクリックすると最新の情報を表示します。

● 静的ルーティング設定

1. 静的ルーティング設定を表示します。図 5-23 を参照してください。

図 5-23 静的ルーティング (IPv6) 設定画面

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-15 を参照してください。

表 5-15 Static Routing Parameter Descriptions

パラメータ名	パラメータの説明
名前	静的ルーティングエントリの名前
Egress	LAN : LAN側ネットワーク
プレフィックス	IPv6プレフィックスアドレス プレフィックスが:: / 0の場合、この構成は初期値のルーティングで、任意の宛先アドレスに有効です。
ゲートウェイ	ネットワークインターフェースが属するネットワークセグメントのゲートウェイ

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。
4. 「新しいアイテムを作成する」をクリックすると静的ルーティングエントリを追加できます。
5. 「新しいアイテムを作成する」をクリックすると静的ルーティングエントリを追加できます。

● **ポリシールーティングの設定**

1. ポリシールーティング設定を表示します。図 5-24 を参照してください。

図 5-24 ポリシールーティング (IPv6) 設定画面

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-16 を参照してください。

表 5-16 ポリシールーティング (IPv6) 設定パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
名前	ポリシールーティングエントリの名前
Egress	LAN : LAN側ネットワーク
送信元IPアドレス	合致するパケットの送信元IPアドレス
宛先IPアドレス	合致するパケットの宛先IPアドレス
プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> ● ICMP : ポリシーにICMPを設定 ● TCP : ポリシーにTCPを設定 ● UDP : ポリシーにUDPを設定 ● 任意 : TCP、UDP、ICMPを設定
送信元MACアドレス	<p>合致するパケットを送信する送信元デバイスのMACアドレス</p> <p>MACアドレス入力の下に「関連するデバイスから選択」をクリックすると接続中のデバイスのMACアドレスを指定できます。</p>

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。
4. 「新しいアイテムを作成する」をクリックするとポリシールーティングエントリを追加できます。
5. 設定画面右上のゴミ箱イメージをクリックするとポリシールーティングエントリを削除します。

5.4 UPnP 設定

概要

UPnP は、手動で設定することなく、電子デバイス同士が自動的に接続して通信できるようにするネットワークプロトコルです。有効な UPnP プロトコルにより、ネットワークデバイスの接続と設定が簡素化されます。

手順

● UPnP の設定

1. Web 管理メインページで、メニュー [LAN] > [UPnP] を選択して、UPnP ページに入ります。
図 5-25 を参照してください。

図 5-25 UPnP 画面



2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 5-17 を参照してください。

表 5-17 UPnP パラメータ

パラメータ名	パラメータの説明
UPnP	<ul style="list-style-type: none">● オン: UPnP機能が有効● オフ: UPnP機能が無効

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

● UPnP ポートマップテーブルの確認

1. UPnP ポートマップテーブルを開きます。図 5-26 を参照してください。

図 5-26 UPnP ポートマップテーブル

▼ UPnPポートマップテーブル

ステータス	プロトコル	内部ポート	外部ポート	IPアドレス	削除
使用可能	TCP	10000	10000	192.168.1.123	
使用可能	UDP	12000	12000	192.168.1.123	

[更新](#)

2. 「更新」ボタンをクリックすると最新の情報を表示します。

6 管理と診断

6.1 デバイス情報の確認

概要

デバイス情報画面ではデバイスタイプ、ソフトウェアバージョン番号、ハードウェアバージョン番号などのデバイス情報を表示します。

手順

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[管理&診断] > [ステータス]を選択し、デバイス情報画面に入ります。図 6-1 を参照してください。

図 6-1 デバイス情報画面



▼ デバイス情報	
デバイスタイプ	H8748Q V2
デバイスのシリアル番号	ZTEMHA5QBN00010
ハードウェアバージョン	V2.0.00
ソフトウェアバージョン	V2.0.0P3_ENECOM
ブートバージョン	V1.0.0
動作モード	コントローラー(ルーター)

[更新](#)

2. 「更新」ボタンをクリックすると最新の情報を表示します。

6.2 アカウント管理の設定

概要

本製品のパスワードを変更することで、ネットワークを保護し、権限のない人がネットワークにアクセスするのを防ぐことができます。以下のルールでパスワードを強力にしてください：

- パスワードの長さは 8 文字以上
- パスワードは数字、アルファベット、および記号で構成

手順

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[管理&診断] > [アカウント管理]を選択し、管理者アカウント管理ページに入ります。図 6-2 を参照してください。

図 6-2 アカウント管理画面

▼ 管理者アカウント管理

ユーザー名

旧パスワード

新パスワード

パスワードの確認

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 6-1 を参照してください。

表 6-1 管理者アカウント管理パラメータ

パラメータ名	パラメータ説明
ユーザ名	ユーザ名はadmin固定（変更不可）
旧パスワード	変更前パスワード
新パスワード	新しいパスワード
パスワードの確認	新しいパスワードの再入力

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

6.3 アイドルタイムアウトの設定

概要

アイドルタイムアウト時間を設定して、本製品のセキュリティを強化します。ユーザーが一定時間内に操作を行わない場合、自動的にユーザーをログアウトし、権限のない人物がユーザーのセッションを使用して不正な操作を行うことを防ぎます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[管理&診断] > [アイドルタイムアウト]を選択して、アイドルタイムアウトページに入ります。図 6-3 を参照してください。

図 6-3 アイドルタイムアウト画面



▼ アイドルタイムアウト

タイムアウト 分

設定 キャンセル

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 6-2 を参照してください。

表 6-2 アイドルタイムアウトパラメータ

パラメータ名	パラメータ説明
タイムアウト	ユーザーが自動的にログアウトされるまでのアイドル時間（最大30分） 単位: 分

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

6.4 システム管理設定

6.4.1 デバイス管理設定

概要

システム管理ページで、デバイスを再起動できます。再起動後、構成パラメータはクリアされないため、設定を再構成する必要はありません。工場出荷時の設定を復元すると、ネットワーク設定やパスワードなど、デバイスのすべての設定と構成がクリアされます。

- デバイスの再起動の主な機能には、キャッシュの解放、急速な劣化の防止、デバイスの耐用年数の延長などがあります。

工場出荷時設定の復元機能は、次のシナリオに適用されます：

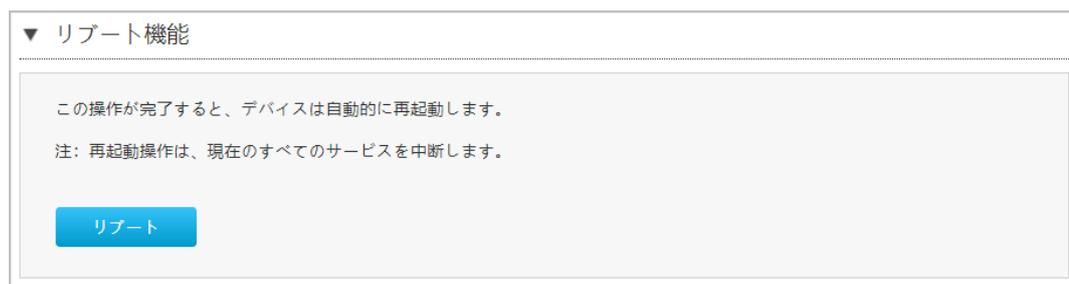
- デバイスの故障：ホームゲートウェイにネットワーク接続の問題、パフォーマンスの低下、またはその他の障害が発生した場合、工場出荷時の設定に戻すことで、デバイスを正常な動作状態に戻すことができます。
- デバイスのパスワードや設定を忘れた場合：ホームゲートウェイの管理者パスワードやその他の重要な設定を忘れた場合、デバイスを工場出荷時のデフォルト設定に復元し、デバイスを再設定することができます。

手順

● リポート機能

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[管理&診断] > [システム管理] > [デバイス管理]を選択して、デバイス管理ページへ入り、リポート機能画面を表示します。図 6-4 を参照してください。

図 6-4 リポート機能画面



2. 「リポート」ボタンをクリックすると本製品が再起動します。

● リセット機能

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[管理&診断システム管理デバイス管理]を選択して、デバイス管理ページへ入り、リポート機能画面を表示します。図 6-5 を参照してください。

図 6-5 リセット機能画面



2. 「リセット」ボタンをクリックすると本製品は初期化動作を行います。設定を工場出荷時状態へ戻します。

6.4.2 ソフトウェアのアップグレード

概要

ソフトウェアアップグレードの目的は、既知のセキュリティ脆弱性を修正し、新しい機能を追加し、システムパフォーマンスを向上させ、ネットワーク接続の安定性とセキュリティを確保します。

前提条件

アップグレード用のファイルが必要となります。

手順

注:

- 本製品では自動でソフトウェアアップグレードを行うため、通常使用時にはこの操作は使用しません。
- ソフトウェアアップグレード中は電源を切らないでください。
- アップグレード後、自動的に再起動を実行します。

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[管理&診断] > [システム管理] > [ソフトウェアのアップグレード]を選択して、ソフトウェアのアップグレード画面に入ります。図 6-6 を参照してください。

図 6-6 ソフトウェアのアップグレード画面



2. 「ファイルの選択」をクリックしてサービスプロバイダーから提供されたアップグレード用ファイルを指定してください。
3. 「アップグレード」ボタンをクリックすると、アップグレード確認のポップアップを表示します。「OK」ボタンをクリックするとソフトウェアのアップグレードを開始します。

6.4.3 自動アップグレード設定

概要

本製品はソフトウェアを自動でアップグレードします。自動アップグレードの設定を行います。バージョンアップが完了すると、本製品は自動的に再起動を実施します。

手順

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[管理&診断] > [システム管理] > [自動アップグレード]を選択して、自動アップグレード画面に入ります。図 6-7 を参照してください。

図 6-7 自動アップグレード設定画面

▼ ソフトウェアのアップグレード 自動 手動

i アップグレード後にデバイスが再起動します。

ソフトウェアアップグレード用の URLを記入してください。

ソフトウェアアップグレードの時刻を設定してください。

時から 時まで

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 6-3 を参照してください。

表 6-3 自動アップグレード設定パラメータ

パラメータ名	パラメータ説明
自動	このモードでは、自動的にアップグレードを検出し、指定された時刻の範囲内で自動的にソフトウェアをアップグレードします。
手動	このモードでは、自動的にアップグレードを検出し、検出された状態時にアップグレード用のポップアップ表示します。「アップグレード」ボタン をクリックするとアップグレードを開始します。図6-8を参照してください。
URL	URLは固定値です。
アップグレード時刻	アップグレードを開始する時刻を指定してください。自動設定でアップグレードを検出した場合には、指定された時間内でランダムにアップグレードを開始します。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

図 6-8 手動アップグレード時のアップデート用ポップアップ



6.5 ログ管理

概要

このセクションでは、本製品のログ管理機能について説明します。

- システムログに記録されたエラーや警告情報を確認することで、ネットワーク障害の具体的な症状や可能性のある原因を把握することができます。
- リモートログ管理機能により、本製品がログ情報をリモートのログサーバーやストレージデバイスに送信することができます。

手順

● システムログの確認

1. Web 管理メイン画面で、メニュー[管理&診断] > [ログ管理]を選択して、ログ管理画面に入ります。システムログ管理画面でシステムログを確認できます。図 6-9 を参照してください。

図 6-9 システムログ管理画面

▼ システムログ管理

ログの保存 オン オフ

設定 キャンセル

ログ出力

更新 ログダウンロード

2. パラメータの設定、ログ表示を参照します。パラメータについての説明は表 6-4 を参照してください。

表 6-4 システムログ管理パラメータ

パラメータ名	パラメータ説明
ログの保存	オンの場合にはシステムログを取得し、ログを出力します。
ログ出力	システムログを表示します。

3. ログの保存設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を完了します。
4. 「更新」ボタンをクリックすると最新のログをログ出力へ表示します。
5. 「ログダウンロード」ボタンをクリックすると、システムログをダウンロードすることができます。

● セキュリティログ管理

1. セキュリティログ管理画面でセキュリティログを確認できます。図 6-10 を参照してください。

図 6-10 セキュリティログ管理画面

▼ セキュリティログ管理

ログの保存 オン オフ

設定 キャンセル

ログ出力

更新 ログダウンロード

2. パラメータの設定、ログ表示を参照します。パラメータについての説明は表 6-5 を参照してください。

表 6-5 セキュリティログ管理パラメータ

パラメータ名	パラメータ説明
ログの保存	オンの場合にはシステムログを取得し、ログを出力します。
ログ出力	システムログを表示します。

3. ログの保存設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を完了します。
4. 「更新」ボタンをクリックすると最新のログをログ出力へ表示します。
5. 「ログダウンロード」ボタンをクリックすると、システムログをダウンロードすることができます。

● リモートログの管理

1. リモートログ管理画面でリモートログサーバへのログの転送を設定できます。図 6-11 を参照してください。

図 6-11 リモートログ管理画面

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 6-6 を参照してください。

表 6-6 リモートログ管理画面

パラメータ名	パラメータ説明
リモートログ	オンの場合には、指定されたリモートログサーバにログメッセージの送信を開始します。 オフの場合には、リモートサーバへのログメッセージの送信を停止し、ログメッセージをローカルにのみ保存します。
リモートログサーバ	ログメッセージ送信先のリモートログサーバのIPアドレス リモートログがオンの場合に表示します。

3. 設定後、「設定」ボタンをクリックして設定を終了します。

6.6 診断

概要

診断機能では、障害箇所の特定制や日常メンテナンスのため Ping 診断とトレースルート診断を提供します。

- Ping 診断: ユーザのホストから別のホストへのネットワークが接続されているかどうかをテストするために使用されます。
- トレースルート診断: ユーザーのホストから別のホストへのネットワーク経路を表示します。

手順

● Ping 診断の実行

1. Web 管理メインページで、メニュー[管理と診断] > [ネットワーク診断] > [PING 診断] を選択して、PING 診断ページに入ります。図 6-12 を参照してください。

図 6-12 PING 診断画面

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 6-7 を参照してください。

表 6-7 PING 診断パラメータ

パラメータ名	パラメータ説明
IPアドレス/ホスト名	Pingを実施する宛先のIPアドレス/ホスト名を設定します。
Egress	Pingテストを実施したいインターフェースを選択します。 <ul style="list-style-type: none">● オート：設定したアドレスによりLAN側/WAN側を自動判別し、PINGテストを実行します。● LAN：LAN側のテストを実行する場合に選択します。● DHCP：WAN側のテストを実行する場合に選択します。

繰り返し回数	Pingリクエストメッセージの送信回数
パケットサイズ	Pingリクエストメッセージのパケットサイズ
タイムアウト	各Pingからの応答を待機する最大時間。設定した時間内に応答が受信されない場合、Ping要求は失敗したとみなされます。

3. 「診断」ボタンをクリックすると、システムは指定されたアドレスへの Ping を開始します。繰り返し回数で指定された回数の Ping 操作を実行し、結果が下の診断結果ボックスに表示されます。

● トレースルート診断の実行

1. トレースルート診断画面を表示します。図 6-13 を参照してください。

図 6-13 トレースルート診断画面

▼ ネットワーク診断

[診断時に注意すべきことは何ですか？](#)

▶ PING診断

▼ トレースルート診断

IPアドレス/ホスト名

Egress ▼

最大ホップ数

待ち時間 ms

プロトコル ▼

診断結果

2. パラメータを設定します。パラメータについての説明は表 6-8 を参照してください。

表 6-8 トレースルート診断パラメータ

パラメータ名	パラメータ説明
IPアドレス/ホスト名	トレースルート診断を実施する宛先のIPアドレス/ホスト名を設定します。
Egress	トレースルート診断を実施したいインターフェースを選択します。

	<ul style="list-style-type: none"> ● オート：設定したアドレスによりLAN側/WAN側を自動判別し、PINGテストを実行します。 ● LAN：LAN側のテストを実行する場合に選択します。 ● DHCP：WAN側のテストを実行する場合に選択します。
最大ホップ数	最大ホップ数を設定します。初期値：30、範囲は1から64までとなります。
待ち時間	応答パケットを待機する時間を設定します。単位：ミリ秒です。この期間内に応答パケットが受信されない場合は、アスタリスクが表示されます。
プロトコル	プロトコルを選択します <ul style="list-style-type: none"> ● UDP：UDPを設定します。 ● ICMP：ICMPを設定します。

3. 「診断」ボタンをクリックして上記の設定を完了すると、診断が開始され、下の診断結果ボックスに結果が表示されます。

7 よくある質問

POWER LED が点灯しない

電源が入っていません。付属の電源アダプタが正常に接続しているか確認してください。

通電後に LAN ポートの LED が点灯しない

該当の LAN ポートがリンクダウンの状態です。このポートに接続されているデバイスに電源が入っているか、あるいはイーサネットケーブルが正しく繋がっているか確認してください。

表

表 1-1 パッケージの内容	9
表 1-2 LED 表示の説明.....	11
表 1-3 製品仕様.....	13
表 1-4 製品特性.....	13
表 3-1 接続パラメータ.....	25
表 4-1 インターネットインタフェース情報パラメータ.....	26
表 4-2 インターネット接続ステータスパラメータ.....	28
表 4-3 インターネット構成パラメータ	30
表 4-4 フィルタースイッチ、モードパラメータ.....	32
表 4-5 URL フィルタパラメータ	32
表 4-6 IP フィルタパラメータ.....	33
表 4-7 DMZ 設定パラメータ	35
表 4-8 ポートアドレス変換設定パラメータ.....	36
表 4-9 SNTP パラメータ	37
表 4-10 IGMP モードパラメータ.....	39
表 4-11 MLD モードパラメータ.....	40

表 5-1 WLAN オン/オフ設定パラメータ.....	44
表 5-2 無線 LAN 詳細設定パラメータ.....	45
表 5-3 無線 LAN SSID 設定パラメータ.....	47
表 5-4 アクセス制御モード設定パラメータ.....	49
表 5-5 アクセス制御ルール設定.....	49
表 5-6 MLO モードパラメータ.....	51
表 5-7 WPS モードパラメータ.....	52
表 5-8 無線 LAN バンドステアリング設定パラメータ.....	53
表 5-9 メッシュ Wi-Fi パラメータ.....	54
表 5-10 DHCP サーバ設定パラメータ.....	58
表 5-11 DHCP バインディング設定パラメータ.....	59
表 5-12 ポート制御パラメータ.....	61
表 5-13 静的ルーティング (IPv4) 設定パラメータ.....	63
表 5-14 ポリシールーティング (IPv4) 設定パラメータ.....	64
表 5-15 Static Routing Parameter Descriptions.....	66
表 5-16 ポリシールーティング (IPv6) 設定パラメータ.....	67
表 5-17 UPnP パラメータ.....	68

表 6-1 管理者アカウント管理パラメータ	71
表 6-2 アイドルタイムアウトパラメータ.....	72
表 6-3 自動アップグレード設定パラメータ	76
表 6-4 システムログ管理パラメータ.....	78
表 6-5 セキュリティログ管理パラメータ.....	79
表 6-6 リモートログ管理画面	80
表 6-7 PING 診断パラメータ	81
表 6-8 トレースルート診断パラメータ.....	82



図 1-1 前面パネルの LED 表示.....	11
図 1-2 ケーブル・Wi-Fi 接続.....	18
図 2-1 ログイン画面	21
図 2-2 パスワード変更ダイアログボックス.....	22
図 2-3 メインページ.....	22
図 2-4 デバイス情報ページ.....	23
図 3-1 トポロジー画面	24
図 3-2 すべての AP エリア	25
図 3-3 すべてのクライアントエリア	25
図 4-5 インターネット構成画面	30
図 4-6 フィルタスイッチとモード設定画面.....	31
図 4-7 URL フィルタ画面.....	32
図 4-8 IP フィルタ画面	33
図 4-9 DMZ 設定パラメータ	35
図 4-10 ポートアドレス変換設定パラメータ.....	36

図 4-11 SNTP 画面	37
図 4-12 IGMP モード	39
図 4-13 MLD モード	39
図 5-1 無線 LAN ステータス画面	42
図 5-2 無線 LAN クライアントステータス画面	43
図 5-3 無線 LAN オン/オフ設定	44
図 5-4 無線 LAN 詳細設定画面	45
図 5-5 無線 LAN SSID の設定	47
図 5-6 アクセス制御-モード設定	48
図 5-7 アクセス制御 ルール設定	49
図 5-8 アクセス制御ルールテーブル	50
図 5-9 MLO 設定画面	51
図 5-10 WPS 設定画面	52
図 5-11 無線 LAN バンドステアリング画面	53
図 5-12 メッシュ Wi-Fi 画面	54
図 5-13 LAN ステータス画面	56
図 5-14 LAN クライアントステータス画面	56

図 5-15 割り当てアドレス(DHCP) の表示	57
図 5-16 DHCP サーバ設定画面	58
図 5-17 DHCP バインディング設定画面	59
図 5-18 ポート制御機能画面	60
図 5-19 ルーティングテーブルの表示	62
図 5-20 静的ルーティング (IPv4) 設定画面	62
図 5-21 ポリシールーティング (IPv4) 設定画面	64
図 5-22 IPv6 ルーティングテーブル	65
図 5-23 静的ルーティング (IPv6) 設定画面	66
図 5-24 ポリシールーティング (IPv6) 設定画面	67
図 5-25 UPnP 画面	68
図 5-26 UPnP ポートマップテーブル	69
図 6-1 デバイス情報画面	70
図 6-2 アカウント管理画面	71
図 6-3 アイドルタイムアウト画面	72
図 6-4 リポート機能画面	73
図 6-5 リセット機能画面	74

図 6-6 ソフトウェアのアップグレード画面	75
図 6-7 自動アップグレード設定画面	76
図 6-8 手動アップグレード時のアップデート用ポップアップ.....	77
図 6-9 システムログ管理画面	78
図 6-10 セキュリティログ管理画面.....	79
図 6-11 リモートログ管理画面.....	80
図 6-12 PING 診断画面	81
図 6-13 トレースルート診断画面.....	82

用語、略語

AP

- Access Point

CPE

- Customer Premises Equipment

DHCP

- Dynamic Host Configuration Protocol

DMZ

- Demilitarized Zone

DNS

- Domain Name System

DSCP

- Differentiated Services Code Point

GUA

- Global Unicast Address

ICMP

- Internet Control Message Protocol

IGMP

- Internet Group Management Protocol

IP

- Internet Protocol

IPv4

- Internet Protocol Version 4

IPv6

- Internet Protocol Version 6

ISP

- Internet Service Provider

LAN

- Local Area Network

LLA

- Link-Local Address

MAC

- Media Access Control

MLD

- Multicast Listener Discovery

MLO

- Multi-Link Operation

NAT

- Network Address Translation

PBC

- Push-Button Configuration

PPPoE

- Point to Point Protocol over Ethernet

SNTP

- Simple Network Time Protocol

SSID

- Service Set Identifier

TCP

- Transmission Control Protocol

TOS

- Termination of Service

UPnP

- Universal Plug and Play

URL

- Uniform Resource Locator

WAN

- Wide Area Network

WLAN

- Wireless Local Area Network

WPA

- Wi-Fi Protected Access

WPS

- Wi-Fi Protected Setup